

2010年4月27日

各 位

オリックス不動産株式会社

電気自動車カーシェアリング付き環境志向タワーマンション

「サンクタス川崎タワー」販売開始

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷 佳之)は、JR川崎駅西口の中心地に開発中の分譲マンション『サンクタス川崎タワー』(地上33階建、総戸数300戸)のモデルルームの事前案内会を4月29日より開催します。

「サンクタス川崎タワー」は、「省エネルギー」「ライフサイクルコスト低減」「緑化」を意識した環境配慮型の設計・仕様・設備を実現します。オリックス自動車株式会社(本社:東京都港区、社長:三谷 英司)との連携による、入居者の方を対象としたカーシェアリングシステム(電気自動車2台、ハイブリッド車2台)の導入や、11階から最上階まで設けた吹抜空間(パティオ)により緑ある空間の実現を予定しています。川崎市建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)で「Aランク」の取得を目指します。

「サンクタス川崎タワー」は、JR川崎駅から徒歩6分の場所に誕生します。同駅周辺は、近年の再開発で多機能複合都市として注目を集めており、レストランやブティックなど300店舗が入る駅直結の大型商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」をはじめ、文化施設や医療機関、教育機関、アミューズメント施設なども充実しています。また、JR川崎駅は、品川駅・横浜駅へ1駅(*1)、京急川崎駅からは羽田空港駅へ10分(*2)と交通アクセスも良好です。

オリックスグループは、2008年に環境方針を策定し、2012年までの環境活動を「ECORIX2012(*3)」と定め、自らの事業活動の低炭素化を進めながら、お客さまにご提供するサービスを通じてお客さまの低炭素化を推進し、社会の低炭素化に貢献すべく活動を推進しています。今回の環境志向タワーマンションの開発もその一環で、オリックス不動産は環境に配慮した住まいの提供を推進していきます。

(*1) JR 東海道本線をご利用の場合です。

(*2) 京浜急行本線特急をご利用の場合です。

(*3) ECORIXとは、ECO(環境)とORIXを掛け合わせた造語で、京都議定書第一約束期間終了年である2012年までのオリックスグループの環境活動の総称です。

以 上

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

オリックス不動産株式会社 社長室 永井/中村 TEL: 03-3435-3411

【本物件に関するお問い合わせ先】

サンクタス川崎タワー ホームページ URL: <http://www.sakicolle.jp/>
サンクタス川崎タワー インフォメーションデスク TEL: 0120-321-890

<「サンクタス川崎タワー」の主な特徴>

1. 電気自動車カーシェアリングシステムを導入

省エネルギーや CO₂ の排出量削減に貢献する電気自動車とハイブリッドカーをカーシェアリング車両として2台ずつ導入。環境に優しいだけでなく、車を所有する際にかかる車両代、駐車場代、保険料、税金、車検などの維持費が不要となり、大幅なコスト削減に繋がります。

2. 6つの空中パティオによる建物内緑化空間

高層タワーマンションでは希少な自然環境を建物内に取り込んだ6つの空中パティオを採用。3層から7層におよぶ吹き抜けを設け、植栽ユニット(一部パティオ除く)を設置することで、建物の緑化空間の創出に取り組みます。自然の潤いを身近に感じられるほか、夜間には、パティオ全体を照らし出すライトに LED 照明を採用しました。

【「24 エグゼクティブ・ビュー・パティオ」完成予想 CG パース】



3. オール電化を採用

空気の熱でお湯を沸かす「エコキュート」は、従来の燃焼式給湯器と比較して、エネルギーの消費時に排出する CO₂ を約 50%削減。割安な夜間電力を使い高効率なヒートポンプでお湯を沸かすことで、ガス・電気併用住宅と比較しても経済的です。また、切り忘れ防止の自動ストップなどの便利機能付きIHクッキングヒーターを設置。これらの次世代型オール電化設備により、快適で環境に優しい毎日を支えます。

4. 高強度材料による鉄筋コンクリートやスケルトン・インフィルの採用

1階柱に設計基準強度 120N/mm² のコンクリートを採用するなど高強度材料による鉄筋コンクリート造とし、劣化等級も最上級の「3」とすることで、建物の耐久性を高め、間柱タイプの制震装置を建物に組み込むことで地震に対する安全性を高めます。また、スケルトン・インフィルシステムを採用することで、建物の更新性にも配慮し、ライフサイクルコストの低減に努めます。

5. 「次世代省エネルギー基準」に適合した最上級の断熱等級「4」を採用

「次世代省エネルギー基準」に適合した最上級の断熱等級「4」を採用。建物内の気密性を高め、冷暖房などによる電力消費量を低減。環境に優しく、無駄なエネルギー消費を抑えます。

6. 再開発で発展する川崎駅周辺が生活圏、ラゾーナ川崎プラザに近接

近年の再開発で多機能複合都市として注目を集める川崎駅周辺エリア。その JR 川崎駅西口のレストランやブティックなど 300 店舗を有する「ラゾーナ川崎プラザ」に近接する場所に「サンクタス川崎タワー」は誕生します。文化施設や医療機関、教育機関、アミューズメント施設なども徒歩圏に充実。JR 川崎駅から品川駅・横浜駅へは1駅(*1)、京急川崎駅からは羽田空港駅へ 10 分(*2)と交通アクセスも良好です。

(*1) JR 東海道本線をご利用の場合です。

(*2) 京浜急行本線特急をご利用の場合です。

【現地周辺航空写真】



※掲載の写真（平成 21 年 10 月撮影）は一部 CG 加工を施しております。

【「サンクタス川崎タワー」外観イメージ】



<「サンクタス川崎タワー」物件概要>

| | |
|------------|---|
| 【所在地】 | 神奈川県川崎市幸区中幸町3丁目16-4他(地番) |
| 【交通】 | JR東海道本線・京浜東北線・南武線「川崎」駅下車徒歩6分 京浜急行本線・京浜急行大師線「京急川崎」駅下車徒歩12分 |
| 【用途地域】 | 商業地域 |
| 【地域地区】 | 市街化区域、防火地域 |
| 【敷地面積】 | 3,852.07㎡ |
| 【建築面積】 | 1,455.56㎡ |
| 【建築延床面積】 | 33,708.43㎡ |
| 【構造・規模】 | 鉄筋コンクリート造、地上33階・地下1階建 |
| 【建築確認番号】 | 第ERI09016109号(平成21年7月9日付) |
| 【総戸数】 | 300戸(防災センター、管理室、ゲストルーム等を除く) |
| 【販売戸数】 | 未定 |
| 【販売価格】 | 未定 |
| 【販売予定時期】 | 平成22年5月下旬 |
| 【住居専有面積】 | 40.02㎡(13戸)～103.88㎡(3戸) |
| 【バルコニー面積】 | 3.92㎡(3戸)～21.70㎡(8戸) |
| 【パティオ面積】 | 17.63㎡(15、21階)～55.46㎡(33階) |
| 【駐車場】 | 総戸数300戸に対し155台(機械式:148台、平面:7台 [うち居住者用2台、来客用1台、カーシェアリング用4台]) |
| 【自転車置場】 | 総戸数300戸に対し596台(使用料未定) |
| 【バイク置場】 | 総戸数300戸に対し10台(使用料未定) |
| 【建物竣工予定時期】 | 平成24年2月下旬 |
| 【入居予定時期】 | 平成24年3月下旬 |
| 【分譲後の権利携帯】 | 敷地は共有、建物は区分所有 |
| 【管理形態】 | 区分所有者全員により管理組合を結成し管理会社に委託予定 |
| 【設計・施工】 | (株)銭高組(基本設計・監修)／(株)スタイレックス |
| 【売主】 | オリックス不動産(株)[国土交通大臣(3)第5903号、 (社)不動産協会会員、(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル35F] |
| 【販売提携(代理)】 | 三井不動産レジデンシャル(株)[国土交通大臣(1)第7259号、 (社)不動産協会会員、(社)不動産流通経営協会会員、 (社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、 東京都中央区日本橋室町3-1-20] |